

鹿山会の活動は、皆さまの会費を原資に運営されています。活動の充実に向け、会費納入のご理解とご協力をお願いいたします。

- (1) 令和5年度第5回役員会を開催しました
- ① 鹿山文庫講演会の開催日の変更について
 - ② 鹿山会報・年会費納入のお願い・年会費納入者名簿の郵送日程の変更について
- (2) 令和5年度年会費・運営寄附金の納入状況について
- (3) 藩校サミットに参加しました
- (4) 令和5年11月、鹿山文庫講演会を開催しました
- (5) 投稿をお待ちしています

***令和6年度：評議員会5月18日(土) 総会6月15日(土)に開催する予定です。**

*昨年11月に開催した鹿山文庫講演会「津田 仙 19世紀から21世紀へのメッセージ」の様子がケーブルテレビ296 地デジ：10ch デジタルCATV：301chで放送されます。詳しくは(4)を参照
放送日：2月1日(木)～2月15日(木) 毎10：20～10：50 毎17：00～17：30

(1) 令和5年度第5回役員会を開催しました

1. 日時 令和6年1月13日(土)午後3時～
1. 場所 地域交流施設研修室
1. 概要



① 鹿山文庫講演会の開催日の変更について

鹿山文庫講演会は、学校内幹事(佐倉高卒業生で現在母校の教諭)の先生方のご協力をいただきながら、例年11月に開催してまいりました。

しかしながら、11月は修学旅行、部活動等を始めとして教科外の取り組みが集中するとともに、通年にわたり教科の充実や試験対策、部活指導等教員の事務量が増加していることから、学校関係者とともに関係時期について検討を進めてまいりました。

このため令和6年度は試みとして、学校行事との兼ね合いから8月8日(木)開催とし、会員の皆さまや文庫講演会聴講希望者の方々へのご案内方法等について検討してまいります。ご理解のほど、お願いいたします。

*コロナ禍以前に11月に開催しておりました記念館特別公開は、木造校舎の維持管理の課題等から実施されません。

② 鹿山会報・年会費納入のお願い・年会費納入者名簿の郵送日程の変更について

年会費納入のお願いや鹿山会報(10月20日付けで発行)は、毎年10月下旬に郵送でお届けしてまいりました。既に報道されておりますが、日本郵便(株)の定形郵便配達料の値上げが予定されており、定形外郵便も値上げが見込まれておりますことから、値上げ実施と見込まれる10月以前に発行することを検討しております。*現在、会報等を郵送しているのは定形外郵便(ゆうメール)です。

定形郵便の値上げは、既に総務省から情報通信行政・郵政行政審議会分科会に値上げの方針が示され、現在はパブリックコメントが実施中されていますが(～1/22まで)、3月には答申される見込みとのことです。総務省は6月にも改正省令を施行する見通しとの報道がされておりますが、昨年の値上げと同様に6月1日前後に定形外郵便物等を含めて実施内容、実施日が告知されるものと見込んでいます。

昨年の値上げが10月1日実施であることから、9月末までには会員皆様に郵送配付できるように検討を進めてまいります。

このため、鹿山会報の発行も、値上げ前の10月以前としてスケジュールを検討してまいります。

「会報・会費納入のお願い・会費納入者名簿」の配付部数は約1万7千部ですので、定形外郵便も3割の値上げが見込まれると報道にあり、仮に30円/通の値上げで51万円の送料増となることから、令和6年度は値上げ前に発行・郵送することでさらに検討を進め、3月の役員会で最終確認をしてまいります。

また、令和7年度以降の発行日につきましても、今後検討してまいります。

(2) 令和5年度年会費・運営寄附金の納入状況について

令和4年度(R5.1.6記帳)現在の年会費・運営寄附金 37,434,731円(決算額は3,963,186円)に比較すると、令和5年度(R6.1.5記帳)現在は3,780,124円となっており、ほぼ同額で推移しています。

母校への支援を継続、強化していくためにも、会員皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

(3) 第20回全国藩校サミット文京大会に参加しました *自費による自主参加です

「全国藩校サミット」は、各地域に息づいている藩校の伝統や精神を現代の視点で見直して評価し、次代に生かしていこうという趣旨で、2002年(平成14年)から毎年、旧藩校所在地の持ち回りで開催されています。

第20回の節目を迎える今年は、全国藩校サミットの初回開催地である文京区で、昨年11月18日(土曜日)に開催されました。

文京区には、江戸時代に幕府の官学の府ともいべき昌平坂学問所(現在の湯島聖堂)があり、また、徳川家ゆかりの寺社をはじめとする神社仏閣や大名屋敷、武家屋敷が多数置かれていました。

「佐倉藩」「佐倉藩校成徳書院」からは、佐倉堀田家13代当主堀田正典様ご夫妻の他、谷口校長先生、村山会長はじめ13名が参加しました。

【日時】令和5年11月18日(土曜日)13:30～

【場所】文京シビックホール大ホール

【主なプログラム】

①藩校会議：シビックホール会議室

②藩主会議：湯島聖堂

③藩校サミット：シビックホール大ホール

オープニング：江戸消防記念会による木遣り・纏ふり・梯子乗りの披露

・旧藩主紹介・旧藩当主代表挨拶 徳川宗家第19代当主 徳川家広氏

・藩校活動発表等

・記念講演：「渋沢栄一の『論語』：受けた教育とその近代への適用

講師：学校法人文京学院学院長・理事長 島田昌和氏

・文京区ゆかりの旧藩主トークセッション

④交流会



(4) 令和5年11月、鹿山文庫講演会を開催しました

*講演会の様子がケーブルテレビ296 地デジ:10ch デジタルCATV:301chで放送されます。

放送日:2月1日(木)～2月15日(木) 毎10:20～10:50 毎17:00～17:30

*CATV296 放送エリア:15市町:佐倉市・四街道市・酒々井町・成田市・千葉市・印西市・富里市・八街市・山武市・大網白里市・茂原市・東金市・香取市・栄町・神崎町

*放送エリアが一部の区域の場合やエリア内でも伝送

路の関係から一部サービス提供されていない場合もあるとのことです。詳しくは問合せください。番組問合せ:0120-533-296

CATV296 放送制作部

講演内容:津田 仙 19世紀から21世紀へのメッセージ～藩校成徳書院での学びから現代社会を問う～



日時 令和5年11月25日(土)14:00～

会場 佐倉高校内地域交流施設

参加者 60名

講師 津田守氏 大阪大学・名古屋外国語大学名誉教授

内容 1837年、佐倉藩小島家に生まれた仙は、満7歳で藩校の「西塾」に入り、満14歳から21歳頃まで成徳書院で武術、漢学、蘭学等を学ぶ。同時に若き侍として黒船を目撃し英学を目指す。その後の彼の生き方が現代人に問うていることを中心に講演されました。

*内容は鹿山会報第19号4、5面参照 *会報は鹿山会HPでもご覧いただけます。

「津田仙」講演会アンケート結果

鹿山文庫委員会

2023年度 鹿山文庫講演会 津田仙～19世紀から21世紀へのメッセージ 藩校成徳書院での学びから～現代社会を問う～

○講師 津田守氏 大阪大学・名古屋外国語大学名誉教授

○調査概要

調査対象 : 2023年度鹿山文庫講演会受講者・関係者

調査日(開催日当日): 2023年(令和5年)11月25日(土)

調査場所 : 地域交流施設研修室

参加者数:60名

アンケート回答有効票数 : 37票・有効回答率:61.7%

調査方法 : 講演終了後、自席において受講者による自記式アンケート

*受付時に講演資料(会報及び講師作成資料)とともに事前配付、講演終了後に指定回収箱により回収

■集計結果留意事項等

*回答率約6割、37票と少なく、的確な考察とはならないと思われるが、講演会の概要・評価等を概括的には捉えられるものと考え集計した。

○設問末尾記載のAは当該設問の有効回答数であり、票数37とは一致しない場合がある。

無回答数を「N」で記載した。選択肢集計に「無回答」を含まない。

○集計の%の数値は小数点第2位以下を四捨五入している。全体に対する個の割合であり、数値の合計が100%にならないことがある。

○複数回答設問の場合は、票数を超えることがある。また、複数回答設問は、その集計が回答者数とはならないために、単なる数値として掲載している。

○記述回答は、できる限り原文表記のまま掲載したが、判読困難な個所がある場合には、前後の文脈から集計者が判断し記載した。

記述末尾の受講者情報では、回答者が容易に想像できるような「回答事項」は「-」とした。

○有効票数が少ないため、クロス集計は基本的に行わないこととした。

○集計結果は、「質問票に結果を記載、簡単なコメントを付す」こととした。

2023年度 鹿山文庫講演会 アンケート(集計結果)

*有効回答数 : 37票 回答率61.7%

*今後の参考にさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。該当するものを○で囲んでください。

*参加者60名:アンケート回答有効サンプル数 : 37票・有効回答率:61.7%

1 佐倉高卒業生ですか? A=29名 N=8

①卒業生(旧制含む):13名・44.8% ②佐倉高生:- ③それ以外:16名・55.2%



*鹿山会会員（卒業生）と一般聴講者が、ほぼ同数となっており、文庫講演会が鹿山会・佐倉高校の社会教育面での地域貢献事業となっていると言える。

2 どちらからいらっしゃいましたか？ A=37名

- ①佐倉市内：26名・70.3% ②成田市：1名・2.7% ③八千代市：2名5.4% ④四街道市：2名・3.7%
⑤八街市：－ ⑥印西市：－ ⑦富里市：1名・2.7% ⑧酒々井町：1名・2.7% ⑨栄町：1名・2.7%
⑩千葉市：－ ⑪その他県内：2名5.4%（香取市・習志野市）⑫県外：1名・2.7%（東京都）

*佐倉市内：26名・70.3%、佐倉市以外：11名・29.7%となっており、市外からの聴講者が約3割を占めている。近隣からも参加されている様子が見える。

*性別設問でN=1があるため、以下はA=36で考察した。

- ・市内と回答した方25名のうち鹿山会会員は6名(男3・女3) (24.0%)となっている。
- ・市外と回答した方11名のうち鹿山会会員は7名(男5・女2) (63.6%)となっている。

市内参加の24%が鹿山会会員であり、一般参加者は76%となっている。市外では64%が鹿山会会員、一般参加者は46%となっている。

一般参加者割合では市内で高く、市外ではほぼ半数となっている。

3 性別 A=36名 N=1

- ①男性：19名・52.8% ②女性：17名・47.2% ③その他：－
全体男女構成比は、ほぼ半数となっている。

*市内25名：男11名 女14名
市外11名：男8名 女3名

4 年代 A=37名

- ①10代：－ ②20代：－ ③30代：1名・2.7% ④40代：1名・2.7%
⑤50代：1名・2.7% ⑥60代：1名・2.7% ⑦70代：26名・70.3% ⑧80代以上：7名・18.9%

*高齢者(70代・80代)の割合が約9割を占めており、青年、壮年、中年、初老期の方(30代～60代)は殆ど参加されていない。9割が70,80代となっている。

5 今回の講演を何によって知りましたか？(いくつでも) A=41(複数回答)

- ①鹿山会報：15名・36.6% ②鹿山会ホームページ：－ ③こうほう佐倉：12名・29.3%
④口コミ：8名・19.5% ⑤その他：6名・14.6% (文化活動団体等からの情報等)

*鹿山会報は勿論であるが、佐倉市広報「こうほう佐倉」からの情報取得が29.3%と大きな割合を占めている。一般市民聴講者が多いことから、市広報掲載は必須といえる。HPは文庫講演会情報入手の手段とはなっていない。

***鹿山会のホームページをご覧になったことがありますか？** A=32 N=5

- ①よく見る：2名・6.3% ②時々見る：7名・21.9% ③知っているが見たことがない：11名・34.4%
④まったく知らない：11名・34.4% ⑤必要がない：1名・3.1%

*鹿山会hpを知っている方は、20名・62.5%となっている。見たことがある方は9名・28.1%となっている。定期更新ではないことを考慮すると、一定の情報発信力を持ち得ていると考えられる。

会員13名のうち「見る・時々見る」は6名・46.2%、認知度では10名・76.9%で、hpは「知ってはいるが、積極的には見ない」という程度に留まっている。

6 佐倉高校に江戸時代以来の資料があることをご存知でしたか？ A=37

- ①はい：30名・81.1% ②いいえ：7名・18.9%

*81.1%の聴講者が「鹿山文庫」の存在を知っていたが、知らない方も18.9%となっている。文庫講演会が「鹿山文庫」の認知度アップにも結び付いていると言える。

7 地域交流施設に見学等で来館されたことがありますか? A=36名 N=1

①はい：27名・75.0% ②いいえ：9名・25.0%

*鹿山文庫の存在を知っている方の殆どが、地域交流施設に来館している。僅かだが、知っていても来館されていない方もいる。

8 鹿山文庫講演会に参加したことがありますか? A=37名

①はじめて：24名・64.9% ②2回目：3名・8.1% ③3回目：1名・2.7% ④4回以上：9名・24.3%

*聴講が「はじめて」約6割強、「4回以上」約2割強が突出している。特に、初めての参加が突出している。津田仙への興味、新5千円札津田梅子への関心なのか、理由は不明だが、講師が7月に佐倉市立美術館で関連講演会、また佐倉市立図書館では津田仙関連パネル展示会を開催していることも一因となっているのではないかと。

9 講演「津田仙～19世紀から21世紀へのメッセージ～」の内容はいかがでしたか? A=28名 N=9

①とてもよかった：13名・46.4% ②わかりやすかった：14名・50.0%

③ややむずかしかった：1名・3.6% ④むずかしかった：-

*講師のわかり易い講演内容として満足度が極めて高かった(27名・96.4%)と思われる。

*講演の内容が、基本的な事項が会報特集記事に掲載されており、「予習」や当日に確認できたことも「わかりやすさ」の一助となっているのではないかと。

*設問：選択肢を満足度で設定し、その選択理由を自由記載とすべきであったと考えている。

*以下の自由記載は、アットランダムに投函された票を束ねた順に記載した。

原則として、原文のとおり掲載している。

10 講演について、感想をお書きください。(自由回答) A=25名

津田仙の今まで知らなかった事がわかり、大変良かった。：市内・女・70代

鹿山会の会報に詳しく書いてくださってあり、ありがたいです。読み返して今日の講演を確認したいです。：市内・女・70代

農業に関する事だけでなく、様々な事に功績があったことをした。津田仙については、45年前までは知識がなく、佐倉学などを通じ広く子ども達にも周知できたらよいと思う。：市内・女・70代

大変感動致しました。：市内・女・70代

明治期の様子がわかり、おもしろく聞いた。：市外：女・70代

大変、津田仙の思いが伝わりました。：市内・女・80代

広く、深く、具体的でわかり易く、とても素晴らしい講演を本当にありがとうございました。：市内・女・70代

大変良かったです。：市外・男・70代

見た目よりより大変謙虚な印象を受けました(失礼!)。津田仙氏について、興味を持ち、もっと知りたいと思ってます。勉強になりました。：市外・男・70代

豊富なエピソード、教科書にのっていない話、楽しい講演会でした。：市内・男・80代

「津田仙」のこと、興味深く、勉強できました。ありがとうございました。日本の夜明けをリードした方々のひとりでしょうか。：市内・女・80代

大変興味深い講義でした。感激いたしました。津田仙の多才、有能がよく理解できました。津田仙が現代社会に生きていたら、もっと世の中が良くなっていたと思います。津田教授の講演を、また聞いてみたいです。：市内・男・70代

「津田仙」について、学ぶことが出来て、楽しく豊かな気持ちになっています。ありがとうございました。：市外・男・70代

“母”初について、ふれてくれてよかった。くわしく聞きたかったが、家族の話もしてくれて、おもしろかった。クララのアップルパイなど、梅子以外の話もおもしろかった。：市外・女・50代

講師がテーマについてフリーに話していただいたこと、印象的でした。：市内・女・70代

- 鹿山会報第 19 号に、今回の講演の“スジ”が発表されていて、たいへん参考になった。：市内・男・70 代
- 読み原稿の際は、できれば画面（映像）表示していただければ良かったと思いました。：市外・女・70 代
- 講演者が身内の方を語られるので、とても親しみが感じられて良かった。：市内・女・70 代
- 佐倉藩が江戸幕府内でも活躍できていた様子や、その後の仙も要職につくことが出来た。仙の知識は日本の基礎に大きく役立っていたことが、もつともつと世に知られてほしい。：市内・－・70 代
- 津田仙の様々な面での活躍を知ることができた。農業等一次産業の普及が国の基礎であるとする。：市内・男・70 代
- 津田仙さんは津田梅子さんのお父さんとして知っていましたが、家族のため、国民のため、国のため、すごく尽力されていた方であると知ることができました。私にとって尊敬する人物になりました。妻・初さんのことも知っていききたいと思いました。：市外・男・30 代
- 守さんが元気そうで安心しました。：市外・男・40 代
- 判りやすい話で良かったです。次回は？楽しみにしています。：市内・女・80 代
- 知らないことがたくさんありました。平和な社会、豊かな社会を目指したこと、すばらしいと思いました。：市内・男・70 代
- とてもわかりやすく、興味深く拝聴できました。ありがとうございました。：市内・女・70 代

11 今後の鹿山文庫講演について、ご意見・ご希望等をお聞かせください。（自由回答） A=13 名

- 外山先生の「洋学を積極的に取り入れた佐倉藩校成徳書院」について、お話しが聞けたらと思います。：市内・女・70 代
*配付した会報第 19 号記事「津田仙」欄外で、歴史研究第 713 号に外山氏の成徳書院についての論考が掲載されている旨の案内をしています。集計者注
- またの機会を楽しみにしています。：市内・女・80 代
- 今後とも、この様な機会を与えて頂けると、ありがたく存じます。：市内・女・70 代
- 今後とも定期的開催願います。：市外・男・70 代
- ①藩校ゆかりの人物②藩校の当時の教育、師弟関係について③津田守先生曰く、「佐倉勉強」：市外・男・70 代
- 鹿山会ホームページをよく見るようにして、今後講演会に参加したいと思います。：市内・男・70 代
- 講演前のセレモニー（約 15 分）時間がかかりました。長過ぎます。聴衆の意欲（学びの）が減少したように感じました。：市外・男・70 代
- また外山先生、よろしくお願ひします。：市外・女・50 代
- 佐倉が輩出した人材について、光を当てた企画をお願いしたい。：市内・女・70 代
- レジメがあったら、更にわかりやすかったと思います。：市外・女・70 代
- とても良かったです。佐倉高校が身近に感じられました。：市内・女・70 代
- 興味深い話が聞けてありがたかったです。更に又、色々聞きたいです。：市内・－・70 代
- 佐倉藩出身で、実業界、学会等で活躍している人の講演会を市民対象にして開催していただきたい。：市内・男・70 代

12 その他、ご意見・ご希望がございましたらお聞かせください。（自由回答） A=11 名

- 鹿山会の増々のご発展を祈念申し上げます。：市内・女・70 代
- 役員の方、大変ご苦労様です。：市外・男・70 代
- ありがとうございました。：市内・男・80 代
- すばらしい講演を企画して下さい、ありがとうございました。十分満足しました。：市外・男・70 代
- この数年の講演会はおもしろいです。来年も楽しみにしています。：市外・女・50 代
- 講座開催案内時に、終演時間も記載していただければありがたい。：市外・女・70 代
- この様な講演会があれば、また参加させていただきたいです。：市内・女・70 代
- 西洋料理本。アップルパイのつくり方で、末えい達が再会した話 時代のつながりがおもしろい。：市内・－・70 代
- ありがとうございました。：市内・男・70 代
- 今回、このような貴重な会をもうけて下さり、ありがとうございました。次回の講演も楽しみにしております。：市外・男・30 代

(5) 投稿をお待ちしています 鹿山会広報担当

会員皆様からの投稿をお待ちしています。ホームページや会報で紹介したいと思います。

テーマや文字数、画像の有無は問いません(営業、政治、宗教活動等不相当と思われる内容は除きます)。

ご自身のこと、同期の有志の会、クラス会、趣味の会、団体活動の立ち上げや参加者募集等、幅広く募集します。*掲載する場合は、広報担当により調整させていただきます。

記載必須事項

1. プロフィール等：氏名・卒年
2. 原稿：①タイトル②本文③必要に応じ画像等
3. 連絡先 住所、メールアドレス、電話番号

担当：鹿山会広報担当

大野直道・S45年卒 E-mail naomichi.ohno@catv296.ne.jp

通信の確実を期すため、西尾副会長(広報担当)へのCC送信を合わせてお願いいたします。

西尾 国道・S56年卒 m.nsho2@chiba-c.ed.jp

